

雪崩の兆候をいち早くキャッチ 雪崩注意報と発生を発信

雪崩検知システム

雪崩発生 of 監視・警報発令

雪崩検知システムとは

雪崩検知システムは、積雪地方の道路斜面などに設置し、雪崩の監視・警報発令・データ蓄積を行うシステムです。

センサー・データロガー・携帯パケット通信端末を一つにまとめ、斜面積雪の移動量と移動速度の計測、および積雪深と時間降雪量の計測を長期にわたり監視します。急激な積雪の増加、積雪移動速度の増加を素早くキャッチし、雪崩発生の兆候や発生の警報発令を行います。



不動部(センサー・通信局)



移動部(積雪と一緒に移動します)

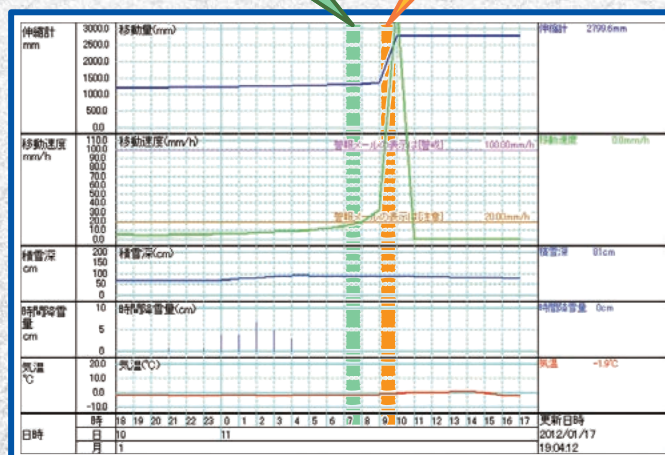


特長

- 斜面積雪の移動量を自動的に測定・記録することが可能です。
- 低消費電力なので、バッテリーおよび太陽電池で運用が可能です。
- 回転灯などの警報機を接続することで、移動量増加時に警報を発令することが可能です。
- 携帯パケット通信端末を接続することで、遠隔地から現地状況を把握したり、雪崩発生を通知するメールを出したりできます。
- 専用の監視ソフトで、積雪移動量、移動速度、降雪量、時間降雪量、気温のデータをグラフ化・蓄積できます。

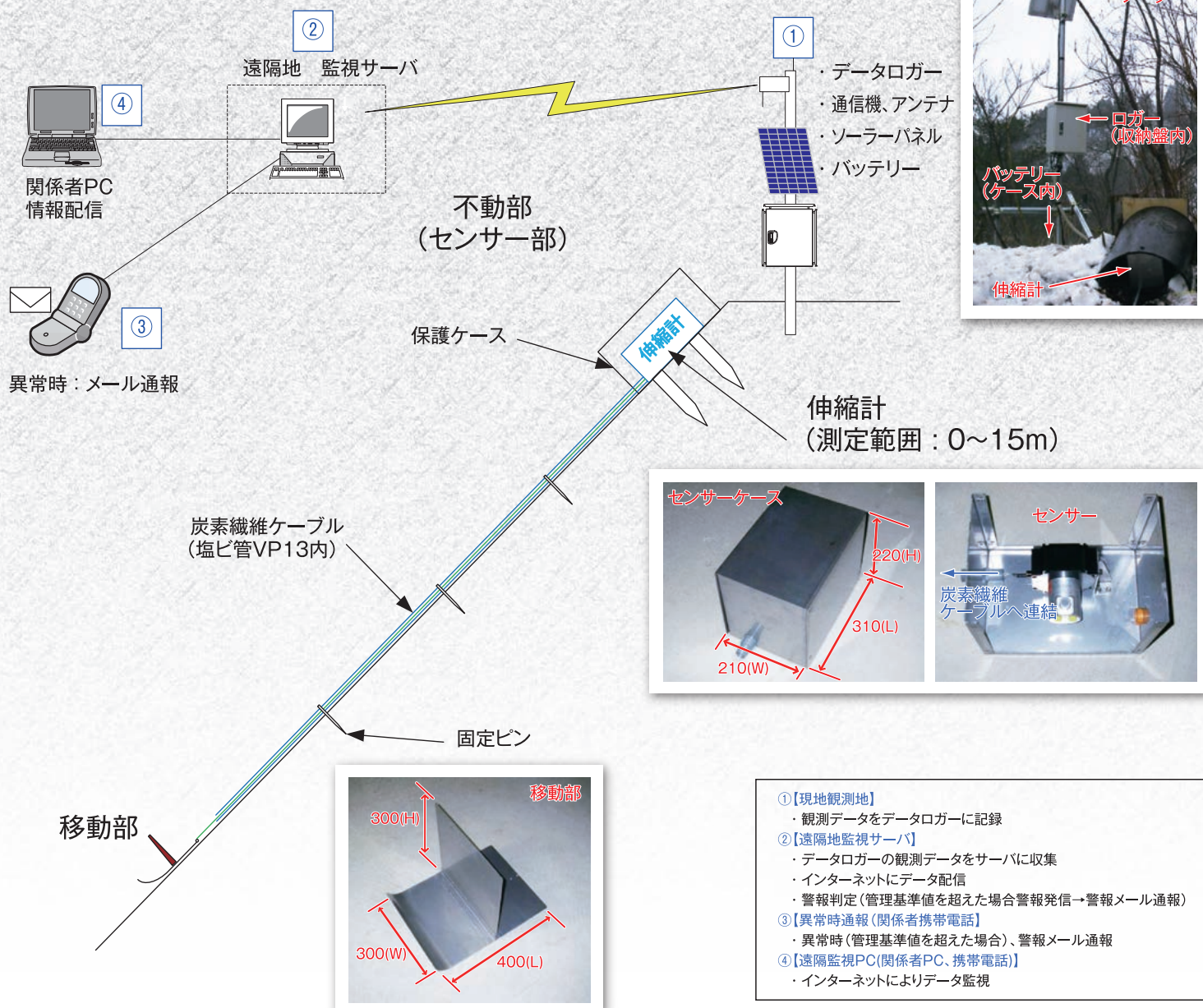
注意報発信

雪崩発生



専用雪崩監視ソフト

システム概要



- ①【現地観測地】
 - ・観測データをデータロガーに記録
- ②【遠隔地監視サーバ】
 - ・データロガーの観測データをサーバに収集
 - ・インターネットにデータ配信
 - ・警報判定 (管理基準値を超えた場合警報発信→警報メール通報)
- ③【異常時通報 (関係者携帯電話)】
 - ・異常時 (管理基準値を超えた場合)、警報メール通報
- ④【遠隔監視PC (関係者PC、携帯電話)】
 - ・インターネットによりデータ監視

システム仕様

ワイヤーセンサー	
測定距離	3m～15mで選択可 (20m以上は要相談)
出力信号	DC0～10V
電源	DC14～27V (12-24V変換ケーブルを使用)
消費電流	最大30mA
保護ケース	SUS製、W214×H216×L310mm
そり部	SUS製、W300×H300×L400mm

警報ユニット	
センサー入力	アナログ0～9.999V
センサー用電源	DC11.5V前後、最大0.3A
記録メモリー	最大9999回分
警報出力	リレーのドライ接点出力×1
表示器	液晶表示、データや時刻の表示
通信	RS-232C、データ回収や各種設定
電源	DC11～15V
消費電流	待機時 約1.5mA
	計測時 約25mA (センサー無負荷時)
外形	W149×H105×D25.5mm



株式会社 **興和** 本社 〒950-8565 新潟市中央区新光町6番地1 代 表：TEL(025)281-8811 FAX(025)281-8833 URL <http://www.kowa-net.co.jp>
 水工部：TEL(025)281-8816 FAX(025)281-8835 E-mail snow@kowa-net.co.jp

支店 / 東北 (仙台)・北陸 (金沢)・新潟・中越 (長岡)・上越・佐渡 営業所 / 青森・阿賀野・魚沼・十日町・長野・富山 事務所 / 東京